
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第147号

2013/05/29配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成25年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 5/22～5/29までの更新情報 -----

●厚生労働省・農林水産省

【2013/05/27】

- ・第53回「コーデックス連絡協議会」の開催及び一般傍聴の募集について

- ・厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000327gv.html>

- ・農林水産省

→ <http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/ki jun/130527.html>

6月17日に標記会合が開催される。議題は、

(1)最近コーデックス委員会で検討された議題について

- ・ 第45回 食品添加物部会
- ・ 第 7 回 食品汚染物質部会
- ・ 第45回 残留農薬部会
- ・ 第41回 食品表示部会

(2)今後コーデックス委員会で検討される議題について

- ・ 第36回 総会
- ・ 第21回 食品残留動物用医薬品部会

など。

●厚生労働省

【2013/05/21】

- ・「毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令案」に対する御意見の募集について

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130046&Mode=0>

5月21日から6月20日までの間、標記意見募集が行われている。

【2013/05/23】

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会添加物部会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000032bvp.html>

5月31日に標記会合が開催される。議題は、イソプロパノールの使用基準等の改正について、など。

【2013/05/27】

・平成25年度 第1回化学物質の健康障害防止措置に係る検討会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000032q8x.html>

6月4日に標記会合が開催される。議題は、平成24年度リスク評価対象物質の健康障害防止措置の検討について、など。

【2013/05/27】

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食品規格部会 議事録

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000032tq9.html>

5月8日に開催された標記会合の議事録が掲載された。議題は、
(1) 清涼飲料水等の規格基準の一部改正について
(2) 容器包装詰加圧加熱殺菌食品の製造時における殺菌料の使用について
など。

●環境省

【2013/05/21】

・平成23年度 大気汚染に係る環境保健サーベイランス調査結果について
(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16664>

標記調査結果が掲載された。地域人口集団の健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察し、必要に応じて所要の措置を講ずるために平成8年度より実施されている。

【2013/05/24】

- ・平成23年度土壌汚染対策法の施行状況及び土壌汚染調査・対策事例等に関する調査結果について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16681>

標記調査結果が掲載された。毎年度、都道府県及び政令市を対象に、土壌汚染対策法の施行状況等が調査されている。

●内閣府食品安全委員会

【2013/05/20】

- ・「食品安全委員会(第474回)の会合結果」を掲載

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20130520sfc>

5月20日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について(添加物:イソプロパノール)、など。

【2013/05/22】

- ・「農薬専門調査会評価第二部会(第24回)(非公開)の会合結果」を掲載

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20130521no1>

5月21日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、農薬(シアントラニプロール)の食品健康影響評価について、など。

【2013/05/23】

- ・「農薬専門調査会評価第四部会(第26回)(非公開)の会合結果」を掲載

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20130522no1>

5月22日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、農薬(フルバリネート、ピリミジフェン)の食品健康影響評価について、など。

【2013/05/23】

- ・「農薬専門調査会幹事会(第93回)の開催について」を掲載

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/nouyaku_annai_kanjikai_93.html

5月31日に標記会合が開催される。議題は、

- (1)農薬(アセトクロール、フェノブカルブ、フルバリネート)の食品健康影響評価について
- (2)農薬(メトコナゾール)の食品健康影響評価について
- (3)農薬(ヘプタクロル)の食品健康影響評価について
- (4)対象外物質(アザジラクチン)の食品健康影響評価について
- (5)特定農薬(電解次亜塩素酸水)の食品健康影響評価について
- (6)農薬(エトキシスルフロン、ピリミジフェン、プロメトリン等)の食品健康影響評価について調査審議する評価部会の指定についてなど。

●国立環境研究所

【2013/05/23】

・環境リスクインフォメーションワールド「Meiのひろば」に[化学]- “化学物質の反応性に注目した毒性予測” ページ追加

→ http://www.nies.go.jp/risk/mei/mei004_5.html

標記記事が掲載された。

●国立医薬品食品衛生研究所

【2013/05/24】

・平成25年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム 「化学物質の安全を科学する」 — リスク評価の新たな流れ —

→ http://www.nihs.go.jp/oshirasejoho/symposium/documents/H25symposium_documents.pdf

下記の要領にて標記シンポジウムが開催される。

日時:7月26日 13:30~17:30

場所:国立医薬品食品衛生研究所 講堂(東京都世田谷区上用賀1-18-1)

内容:

- ・安全性試験の現状と課題
- ・毒性の定量的網羅的解析・評価 —Percellome Projectの進捗—
- ・ヒトiPS細胞の安全性試験法への応用
- ・げっ歯類を用いたがん原性試験の将来像
- ・遺伝毒性の予測とリスク評価
- ・リスク評価における不確実係数の表現法

●農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

【2013/05/23】

- ・[メールマガジン]バックナンバーに第485号を掲載しました。
- http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No485.htm

標記資料が掲載された。

●中小企業基盤整備機構

【2013/05/24】

- ・[J-Net21]REACH Q. 386:タック紙(シール)の原料である紙や粘着剤に抗菌剤は、EUへ輸出する場合に成形品として改正バイオサイド規則に該当するかについて
- <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/386.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2013/05/24】

- ・[J-Net21]RoHS Q. 374:牛革製品をEUへ輸出する場合、REACH規制の含有規制や届出や情報提供義務のある物質以外に気をつけるべき法規制があるかどうかについて
- <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/374.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2013/05/24】

- ・[J-Net21]REACH コラム:韓国版REACH「化学物質の登録及び評価等に関する法律」が成立
- <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/130524.html>

標記コラムが掲載された。

●経済協力開発機構(OECD)

【2013/05/21】

- ・Guidance Document On Developing And Assessing Adverse Outcome Pathways

→

[http://search.oecd.org/officialdocuments/displaydocumentpdf/?cote=env/jm/mono\(2013\)6&doclanguage=en](http://search.oecd.org/officialdocuments/displaydocumentpdf/?cote=env/jm/mono(2013)6&doclanguage=en)

OECDは、化学物質と生体(組織)の相互作用から個体(群)での毒性発現を関連付ける考え方(adverse outcome pathway:AOP)の概要に関するガイドダンスを公表した。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2013/05/06】

- Registry of current Restriction proposal intentions

→ <http://echa.europa.eu/web/guest/registry-of-current-restriction-proposal-intentions>

ECHAは、REACH規則に基づき、4,4'-プロパン-2,2-ジイルジフェノール(ビスフェノールA)に対する制限(Restriction)提案に対するパブリックコンサルテーションを開始した。コメント提出期限は、2014年1月17日。

【2013/05/13】

- Draft revised Guidance on the Application of the CLP Criteria

Part 3: Health Hazards (2nd and 4th ATP) sent to RAC and Forum

→

http://echa.europa.eu/documents/10162/13562/clp_criteria_hh_revised_draft_guidance_rev_7_rac_forum_201305_en.pdf

ECHAは、CLPクライテリアの適用に関するガイドダンス(Part3:ヒト健康影響)の改訂草案をECHAのリスク評価専門委員会(RAC)及び評議会(Forum)に送付した。

【2013/05/16】

- Draft revised Guidance on the Application of the CLP Criteria

Part 2: Physical Hazards (2nd and 4th ATP) sent to RAC and Forum

→ http://echa.europa.eu/documents/10162/13562/clp_criteria_ph_draft_rac_forum_201305_en.pdf

ECHAは、CLPクライテリアの適用に関するガイドダンス(Part2:物理的危険性)の改訂草案をリスク評価専門委員会(RAC)及び評議会(Forum)に送付した。

【2013/05/17】

- Draft revised Guidance on IR&CSA - Chapter R.7a (Sections to only) sent to PEG

→ http://echa.europa.eu/documents/10162/13643/ir_csa_r7a_muta_draft_peg_201305_en.pdf

ECHAは、情報要件及び化学物質安全性評価(IR&CSA)のガイダンスの第R. 7a章のうち変異原性のエンドポイントに関する項目(R. 7. 7. 1~R. 7. 7. 7)の改正草案をPEG (Partner Expert Group) に送付した。

【2013/05/21】

- ECHA calls for a new round of comments on etridiazole's reproductive toxicity and carcinogenicity

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-calls-for-a-new-round-of-comments-on-etridiazoles-reproductive-toxicity-and-carcinogenicity

ECHAは、CLP規則に基づき、5-エトキシ-3-トリクロロメチル-1,2,4-チアジアゾールの生殖発生毒性及び発がん性の有害性クラスに関するパブリックコンサルテーションを開始した。コメントの提出期限は、6月3日。

【2013/05/24】

- ECHA calls for information to avoid unnecessary animal testing

→ <http://echa.europa.eu/information-on-chemicals/testing-proposals/current>

ECHAは、不必要な動物試験を回避するため、3物質に関する情報の提出を要請した。対象物質は、

- 2-benzyl-2-dimethylamino-4'-morpholinobutyrophenone
- Amorphous glass product formed from the melting and fiberisation of dipotassium oxide, oxo(oxoalumanyloxy)alumane and dioxosilane
- 0,0-di(1-methylethyl)trithio-bis-thioformate;

0,0-di(1-methylethyl)tetrathio-bis-thioformate

; 0,0-di(1-methylethyl)pentathio-bis-thioformate

コメントの提出期限は、2013年7月8日。

【2013/05/26】

- New content added on Frequently Asked Questions

→

http://chesar.echa.europa.eu/web/chesar/view-article/-/journal_content/56_INSTANCE_M6zz/title/new-content-added-on-frequently-asked-questions

ECHAは、chesarサポートページのFAQを更新した。

●US EPA

【2013/05/23】

- ・ Status of Efforts to Implement the Recommendations of the NAS Report on Ecological Risk Assessment for Endangered and Threatened Species under FIFRA and ESA

→ <http://www.epa.gov/oppfead1/endorsement/nas-report.html>

米国EPAの全米研究評議会(NRC)は、絶滅危惧種法(ESA)及び殺虫剤・殺菌剤・殺鼠剤法(FIFRA)に基づく絶滅危惧種への、農薬からのリスク評価に対する答申を発表した。

●化学物質国際対応ネットワーク

【2013/05/21】

- ・ 2013年5月16日に開催した「米国カリフォルニア州におけるグリーン・ケミストリー関連政策に関する最新動向セミナー」の講演資料を掲載しました。

→ http://www.chemical-net.info/semi_bn_2013.html

標記資料が掲載された。

【2013/05/24】

- ・ 欧州及び米国における化学物質規則に関する資料の仮訳を掲載しました。

→ <http://www.chemical-net.info/index.html>

標記資料が掲載された。仮訳が掲載された資料は、

- ・ General Report on REACH[SWD(2013)25final]一部抜粋
- ・ 欧州殺生物性製品規則[(EU)No528/2012]
- ・ カリフォルニア州のより安全な消費者向け製品規則案[R-2011-02]

●環境展望台

【2013/05/22】

- ・ 中国環境保護部、主要汚染物質の2012年全国総排出量削減検査・処罰状況を公表

→ <http://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=11009>

中国環境保護部(MEP)は5月14日、国内のすべての省、自治区、直轄市および国有8企業の、2012年の汚染物質排出削減を検証し、第12次五カ年計画期間中の、総汚染削減への目標責任の実施状況を検証したと発表した。

●EICネット

【2013/05/22】

・アメリカ環境保護庁、土壌汚染地の評価・浄化助成の対象240団体を発表
→ <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=30017&oversea=1>

米国EPAは、工場跡地など汚染地を評価・浄化し再開発するための助成制度「ブラウンフィールド評価・回転融資資金・浄化」(ARC)の助成対象団体を公表した。

●セミナー情報

【2013/05/24】

・【国立医薬品食品衛生研究所】平成25年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム 「化学物質の安全を科学する」— リスク評価の新たな流れ

—
→ http://www.nihs.go.jp/oshirasejoho/symposium/documents/H25symposium_documents.pdf

下記の要領にて標記シンポジウムが開催される。

日時:7月26日 13:30~17:30

場所:国立医薬品食品衛生研究所 講堂(東京都世田谷区上用賀1-18-1)

内容:

- ・安全性試験の現状と課題
- ・毒性の定量的網羅的解析・評価 —Percellome Projectの進捗—
- ・ヒトiPS細胞の安全性試験法への応用
- ・げっ歯類を用いたがん原性試験の将来像
- ・遺伝毒性の予測とリスク評価
- ・リスク評価における不確実係数の表現法

※ 本セミナー情報は、参加費無料のものに限定しております。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

●【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

●配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・ 【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする
場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・ 組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで
お問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- ・ 発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター
- ・ 記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム